

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位
	数学 I	履修学年(類型)		1 学年 普通科
教科書名(出版社名)			高等学校数学 I (数研出版)	

### ●学習到達目標

数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データと分析について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばす。更に、数学的な見方や考え方の良さを認識でき、主体的に学びに向かう態度を育てる。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5	① 数と式 ② 集合と命題	① 数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに1次不等式及び2次方程式についての理解を深め、それらを活用することができる。 ② 図表示などを用いて集合についての基本的な事項を理解し、統合的に見ることの有用性を認識し、論理的な思考力を伸ばすとともに、それらを命題などの考察に活かすことができる。
	6	③ 2次関数	③ 2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できる。
	7	③ 2次関数 ④ 図形と計量	③ 2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できる。 ④ 直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義、及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できる。
2	9	④ 図形と計量 ⑤ データの分析	④ 直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義、及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できる。 ⑤ 統計の基本的な考え方を理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。
	10	⑤ データの分析	⑤ 統計の基本的な考え方を理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができる、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができる、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができる、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	グループ活動での取り組み 数学の自由研究
評価の重み	$\alpha=0.5$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.2$